

## アソカ講話034

### テーマ「小さな人生論から学ぶ」

小さな人生論 2 巻 2 章の中に壁を越えるというテーマで次の言葉が載せられている。「壁に苦しみ、悩み、傷つき、苦悶し、格闘する中で、人は人格を成長させていく。壁はその人の能力をさらに高め、魂を磨き、本物の人物にするために、天が与えてくれる試練だ。壁に対して逃げてはならない。壁は私達が何か学ぶために、私達の目の前に現れてくるのだ。そのことを肝に銘じておきたい」とある。

私達の行く手を阻むようにみえる壁は見方を変えればいかようにも見えてくる。壁に見える障害物は、実は、人生をジャンプさせてくれる跳び箱かもしれない。あるいは、足腰を鍛えてくれる階段かもしれない。自らの弱点を教えてくれる教師かも知れない。自らの心を磨いてくれるやすりとしての壁もあるだろう。目の前の困難なご利用者が、あるいはすぐ不機嫌になるスタッフがあなたの対人関係力を高めてくれているのだ。あなたの成長に必要な人が今、目の前に立ち現われてきている。時に厳しい態度で臨むことが必要な場合があるが、感謝を持って厳しく臨めば必ず、その思いは相手に伝わるでしょう。学びとしては常に最適な人間関係が、今のあなたに訪れている。そう思うことで学びは深まるでしょう。